



# 市史へんさん

第266号

令和3年5月1日  
小松市史編纂担当  
へんさんだより

新緑の美しい季節を迎えました。昨年からのコロナ禍が収束できず、4月25日から4都府県で緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出、都道府県間の移動の自粛が求められています。今年こそはGWに旅行を計画されたご家族も少なくないかと思えます。ちょうど5月には、「旅の日」の記念日があります。これは、昭和63年(1988)に、日本旅のペンクラブより松尾芭蕉が奥の細道に旅立った5月16日(陰暦元禄2年3月27日)を記念して提唱されたものです。現地には出掛けることが難しい中、最近、リモートで世界各地を巡ることもできます。5月の爽やかな風を感じながら、ひと時、「心の旅」に出掛けてみませんか!!

## 近現代史料に見る感染症対策



新型コロナウイルスの影響で、最近、「感染症」という言葉をよく耳にします。世界を震撼させる「感染症」は、明治から大正期にかけて、コレラ、スペイン風邪などが世界的に広まり、多くの死者を出しました。

その対策、予防については、近現代史を紐解く中で、当地でも、町議会・町内会資料などの中に見ることができ、その実態を追ってみました。

明治10年(1877)代には、「虎裂刺(コレラ/原文で使用の漢字)」が流行し、同12年に、「人寄禁止通達」が県より出されています。通達には、議論の場所は大広間で開き、空気を流通させること。聴衆は大群衆にならないこと。議論は短席の場なら許可するなど、現在のコロナ対策に通じ、全く変わらないことに驚かされます。

また、同20年前後には、「腸窒扶斯(フウフス)」が流行り、「小馬出町外三十ヶ町外連合町費収支精算報告書」(下記資料参照)によると、同19年当時の罹病者(感染者)数は、当地で270有余人を数え、その予防消毒用に石炭酸等が多量に必要とあります。

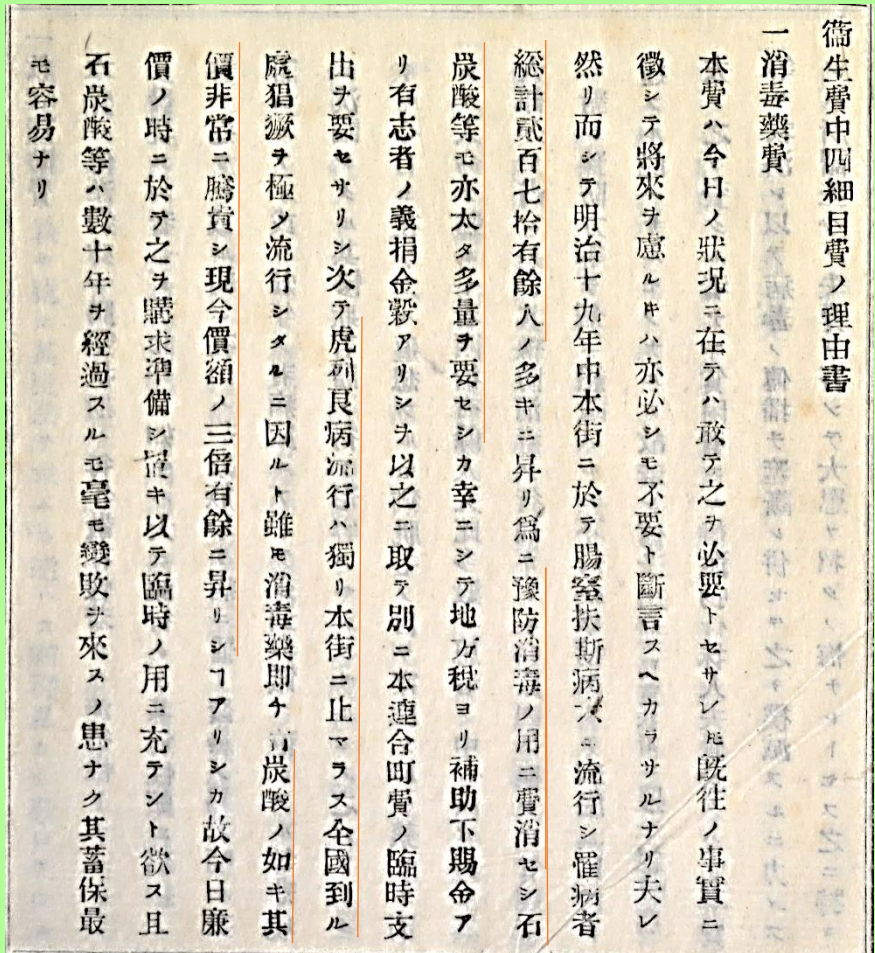
同じ時期、「虎列良(コレラ)」も全国的に広まっており、そのための消毒薬が3倍に高騰したとあります。

同報告書には、天然痘予防のための「種痘(シュトリ)」の出生時の接種も呼び掛けており、貧困者には救済金を出し普及に努めています。

大正年間に入っても伝染病は収束せず、「實布的里亜(ジフテリア)」も広まりその対策は、「小松町事務報告」を見ると、同12年(1923)に敷地を5,790円で購入し、翌年に長年の懸案であった伝染病院が竣工しています。

昔も今も、抱える問題と対策は同様で、先人の知恵が生かされています。

ちなみに、作家の泉鏡花は、赤痢に感染した経験から生ものは食べない、消毒液は持ち歩くなど度を過ぎる程の潔癖症でしたが、その姿勢は、今のコロナ予防の見本となる心構えです。



『連合町費収支精算報告書』より「衛生費中四細目費ノ理由書」(小松市教委収集)

## 『新修 小松市史 資料編 17 考古』第5章「前方後円墳の時代」の見どころ

古墳時代は、「前方後円墳の時代」とも呼ばれ、その時期は3世紀中頃から7世紀末頃に区分される。その築造は、前方後円墳を中心に畿内から全国に展開するが、南加賀では、農業生産を基盤とする集団を統率する首長層が、北の能美低地と南の江沼低地の2つの穀倉地帯を勢力基盤として、それぞれの低地を望む丘陵地に、古墳を築造した。本章は、この2地域に加え、6世紀末頃に、これまで古墳の空白地帯であった、加賀三湖に囲まれた三湖台地域(月津台地)に、突如として小型前方後円墳が多数現れることから、この地域も含め、能美、三湖台、江沼の3地域に区分し、古墳ばかりでなく、その時代を代表する集落遺跡も紹介する。

能美地域には200基を超える古墳があり、わけても能美市の和田山・末寺山・秋常山古墳は北陸最大級であり、その一方で、梯川を望む東部丘陵地には60基を超える河田山古墳群が控え、能美低地中央にある千代・能美遺跡の首長居館の遺構と共に、能美勢力の中枢部を考える上で注目される。更に埴田後山古墳群、八里向山F古墳群は、北陸有数の甲冑集中出土地域として知られ、特筆する。



矢田野エジリ古墳形象埴輪(重文指定)出土状況

三湖台地域では、人物埴輪が出土した矢田野エジリ古墳を取り上げ、その製作技法に着目し、埴輪の倒立技法と継体天皇の擁立基盤が重なることに注目している。

また発見時に全国の注目を集めた河田山古墳群の凝灰岩製切石積石室の成立について特論で一石を投じている。



埴田後山無常堂古墳出土品(市指定)

### <4月の活動状況>

- ・4月18日(日) 通史(原始・古代)部会



### <5月の活動予定>

『通史Ⅰ』は執筆中。『通史Ⅱ』に関係する部会はコロナ禍の影響で開催を控えた。

### <5月のカレンダー> 開室時間 10:00~12:30/14:00~16:00 (火~土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

\*    は閉室しています。開室時間は、図書館の開館時間に合わせてあります。上記以外の時間も含め、御用のある方は、9時から17時まで受け付けていますので、下記にご連絡ください。

小松市史編纂担当 (小松市立図書館 2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19 芦城公園内
- ・TEL 0761(24)5315 ・FAX 0761(22)9763
- ・E-mail [hensansitu@city.komatsu.lg.jp](mailto:hensansitu@city.komatsu.lg.jp)
- ・URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

